

開催概要

目的	「第2次五泉市総合計画」策定にあたり、市民の意見を計画に反映させるとともに、市民と協働による計画づくりを進めるため、市民まちづくり会議を開催した。
日時	平成28年3月1日(火) 14:00~16:00
会場	五泉市福社会館 大会議室
参加委員	20人(委員総数21人)
内容	①会議の目的、スケジュールについて ②五泉市総合計画について ③人口ビジョン・総合戦略について ④市民意識調査の実施について
意見交換	～新市誕生から10年間のまちづくりをふりかえって～ 五泉市の魅力・課題・方向性

実施状況



会議の様子

意見交換：～新市誕生から10年間のまちづくりをふりかえって～五泉市の魅力・課題・方向性

分野	意見
子ども・教育	<ul style="list-style-type: none"> 子育て・親育て支援はずいぶんよくなってきたと思うが、他市とくらべるとまだ足りないところがあるので、改善に向かえばよいと思う。 さまざまなイベントや事業に取り組んでいるので、子どもたちにとっても思い出づくりになったり、ふるさとを思い出せる事業に取り組んだり協力していきたい。 五泉市では学校の建て替えがこの10年間でほぼ完了し、校舎整備ということについては画期的に良くなっている。きれいな校舎は教職員の中では転勤の際に大きな魅力となっており、市内全部が整った校舎をもっているという自治体は近隣には無いので、他市の保護者にもっとPRできるのではないかなと思う。 全て自校給食が行われるようになり、各学校で給食がつくられているという環境も他にはない。五泉市にはまだまだ人を引き付ける魅力があり、発信できる余地はあるのではないかな。 小中学校の学力向上が重要だと思う。 食育に関して計画が進んでおり、地場の新鮮な野菜を子どもたちに食べてもらうという目的が見えてきた感じがする。
福祉・医療	<ul style="list-style-type: none"> 基幹相談センターができるなど、トータルで必要な支援を組み立てられるような制度になってきたことは大変ありがたい。 障がい者が地域に出て活動や生活ができるようになってきている。障がい者に対する理解も得られてきているので、理解が広がっていけばよいと思う。 若い人たちが定住、転入するには自然環境もよく、土地も安価で大変良いと思うが、産科も含めていい病院をつくってほしい。
産業・観光	<ul style="list-style-type: none"> 農業に関して、この10年で若手が育っていない。高齢化が進む中、これからどのように若い人から農業の後継者になってもらうかが、施策に見えてくると良い。 農業分野への予算が少ないように感じる。 地産地消に農家も取り組んでいるので、地域でできた農作物で美味しい食事を作り、人情のある子育てなどに向けてもらえたらと思う。 繊維産業は、ここ10年で縮小している。繊維産業だけではなく、他産業との連携などができれば、さらなる五泉の魅力の発信になるのではないかと考えている。 五泉には、ニットや村松公園の桜を始め、五泉四華、さといも帛乙女、お酒など、いい素材、PRするものがたくさんある。今後のまちづくりには、市民が元気になるために、そのようなものをもっとPRしていくと良いと思う。
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 友達や地域の人たちで気軽に集まってお話をしたり、市民同士が触れ合える場所がほしい。 U・Iターン者などの市外から来た人が、簡単に集まることのできる居場所づくりの充実についても考えてほしい。 五泉市の人口を増やすには、新潟市への良い道が必要だと思う。 まちなか再生に関して、大型店舗跡地への対応をお願いしたい。 各団体に良い物をたくさん持っているのだから、どのようにまちづくりをしていくかを考えながら、総力戦で五泉市を盛り上げていきたい。 子どもたちが五泉市で子育てをしたいと思えるまちづくりをしていきたい。
全般	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、人口減少をいかに食い止めるかが大きな課題。人口減少対策に特化した計画を進めるのも、一つの方法であると思う。 五泉市から出ていくことを食い止める対策が必要。 人口減少に関して、今の子どもたちは結婚や出産といったことから遠いところにいる感じがするので、ガツンと目が覚めるような何か、素敵な政策ができればよいと思う。 総合計画について市民への理解を深めるため、広報やホームページによる周知の他に説明会を開催してはどうか。